

平成26年の綾部市政

写真で振り返る

平成26年は山崎市政が2期目に入り、「住んでよかった」「住みたくなる」綾部の実現に向け、「医・職・住」「教育・情報発信」をキーワードにまちづくりを進めた年になりました。写真とともに、昨年を振り返ります。



①

▲【上林小中一貫校、校舎完成】

11月、八津合町の上林中学校敷地内に上林小中一貫校の新校舎が完成。今年4月に、綾部市初の小中一貫校として開校します。



⑥

【山崎市政2期目スタート】

1月の市長選で山崎市長が再選を果たし、2月3日に初登庁。写真①。出迎えた多くの市民の前で「持続的な発展へ向け、さらなる成長戦略を」と決意を語りました。

【あやバス乗車200万人突破】

平成17年4月に運行を開始したあやバス(愛称・あやバス)。「乗って育てるみんなのあやバス」を合言葉に多くの皆さんに支えられ、2月に延べ乗車人数が200万人を突破しました。写真②。

【紫水ヶ丘公園に大型複合遊具新設】

4月、味方町の紫水ヶ丘公園に新設した児童向けの大型複合遊具。写真③。や



②

アスレチックなどの供用を開始。市章広場などの整備も本年度末に完了します。

【第2最終処分場が完成】

市が平成24年から整備を進めていた野田町の第2最終処分場と第2排水処理施設が5月に完成しました。写真④。

【京都工芸繊維大学と包括連携に関する協定を締結】

市と京都工芸繊維大学(古山正雄学長)とは5月、「包括連携に関する協定」を締結。写真⑤。地域産業の振興や創出、支援をはじめ▽産学公の連携▽人材育成・交流▽文化・教育の振興▽まちづくりの推進などで連携します。

【市庁舎の改修工事が完了】

平成25年7月から進めていた市庁舎改修工事が8月に終了。写真⑥。庁舎の耐震強度を高めたほか、エレベーターの新設などで利便性も向上しました。

【8、9月立て続けの豪雨で市内に大きな被害】

8月と9月、市内では短時間に記録的な大雨が降り、多くの土砂災害や浸水被害をもたらしました。写真⑦。

【市立病院の増築棟完成】

平成25年3月に着工した第4次整備工事のうち、病院南側の増築棟部分が9月に完成。写真⑧。リハビリテーション機能の充実や入院環境の向上を図りました。さらに、今年度中に順次改修工事も行います。

【総合防災訓練で非常時の連携を確認】

「災害に強い安全で安心なまち綾部」を実現するため、11月に紫水ヶ丘公園などで実施。災害派遣医療チーム「DMAT」。写真⑨。綾部建設業協会なども新たに加わり、市民と各防災関係機関が一体となって、非常時の連携を確認しました。



⑨



⑧



⑦

こんなこともありました

府と市などが初めて広域的な原子力総合防災訓練を実施(1月)▽JR綾部駅構内3番ホームへ連絡するエレベーターが完成(3月)▽あやべ温泉、あやべ山の家をリニューアル(同)▽綾部の伝説・民話紙芝居が完成(同)▽都市計画道路網見直し検討委員会から、7路線廃止の提言を受ける(同)▽住みたくなるまち定住促進条例、防災基本条例を制定(4月)▽河北中学校に新体育館竣工(同)▽障害者生活支援センターを市内4か所に増設(同)▽大本みろく殿が国の登録文化財に(同)▽大丹波連携推進協議会で、災害時等相互応援に関する協定を締結(5月)▽中国・常熟市との友好締結25周年を機に公式訪中(同)▽京都府総合教育センター北部研修所の利用に関する協定を締結(6月)▽あやべ特別市民2000人突破(9月)▽府綾部工業団地で「株式会社TRI京都」が操業開始(10月)



⑤



④



③